

平成30年6月29日

上越市長 村山 秀幸 様

中郷区地域協議会会長 高橋 達也

勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金の活用による  
二本木駅周辺の整備についての意見書

市長におかれましては、市民の安全と安心な暮らしの確保に日々ご尽力いただき深く感謝申し上げます。

さて、表題の基金については、平成30年度末までに廃止するとの市の提案に対し、当地域協議会で2回に渡り意見書を提出した結果、平成28年4月15日付けで「基金条例に規定する用途目的の事業に基金の残額の全てを充当した上で条例を廃止する」旨の回答をいただいたところです。

これを受け、当地域協議会では中郷区にとって有益な事業が、基金の活用によって具現化できる手法を地域住民の意見も聴きながら審議し、見出していくこととしました。

そして、まずは基金の活用に捉われず様々な角度から地域課題とその解決策、目指すべき方向性について整理し、それを基に区内3か所での意見交換会を開催する中で、重要かつ喫緊の最優先課題として「二本木駅を核とした地域活性化」をテーマに絞り込み、新たな自主審議事項として具体的な解決策等について審議を重ねてきたところです。

現在、二本木駅では駅の魅力発信や交流人口の増加を図るため、鉄道まつりやスイッチバック市等のイベントを始め、喫茶ルームや桜植栽による来訪者へのおもてなしなど多くの取組が関係団体等によって行われています。

これらの取組を中郷区の活性化の核としてさらに推進していくためには、各団体の役割を明確にして中郷区全体が参加できる取組にしていくとともに、誰もが安全で快適に利用できるよう、老朽化し高齢者にとって使い勝手の悪いトイレの改築を始めとした駅周辺の環境面の整備が必要であるという結論に至りました。

これまでの審議の状況や結果については、地域協議会だよりや今年3月に開催した活動報告会の中で地域住民に説明し、意見交換も行っております。

については、二本木駅を核とした地域活性化を一層推進していくため、駅前のトイレの改築を始めとした駅周辺の環境面の整備に同基金を活用し、市の事業として早急に進めていただくよう当地域協議会として強く要望いたします。